

花粉削減・グリーン成長総合対策のうち 山村の活性化

【令和6年度予算概算要求額 22,150 (16,143) 百万円の内数】

<対策のポイント>

里山林の継続的な保安全管理や利用、スギ人工林の樹種転換等の協働活動、国民の幅広い参画による森林づくり、新たな森林空間利用の創出に向けた取組の実施や環境整備、森林整備を通じて「山の炭素吸収」を拡大する自治体の取組を企業等が応援する仕組みの整備や森林由来J-クレジットの創出・活用に向けた取組を推進します。

<事業目標>

- 地域外からの活動参加者数（関係人口を含めた活動への参加者数）が増加した活動組織の割合を毎年度増加
- 国民参加による植樹の推進（1億本 [令和12年度まで]）
- 新たな森林空間利用に関心のある企業等（382企業等 [令和4年度末時点] → 610企業等 [令和8年度まで]）
- 森林管理プロジェクトのクレジット認証量の拡大（12.9万CO2t [令和4年度まで] → 120万CO2t [令和12年度まで]）

<事業の内容>

1. 森林・山村多面的機能発揮対策

地域住民や地域外関係者等による活動組織が実施する森林の保安全管理、スギ人工林の樹種転換、森林資源の活用を図る取組等を支援します。

2. 国民参加の植樹等の推進

全国植樹祭等の全国規模の緑化行事の開催や、森林づくりに参画を希望する企業等と植栽場所のコーディネートを行うサポート体制構築等を支援します。

3. 新たな森林空間利用創出対策

健康づくりに関心がある企業等に対する森林空間利用のニーズ調査やマッチング機会創出、「日本美しの森 お薦め国有林」の観光利用を推進するための環境整備等を実施します。

4. 山の炭素吸収応援プロジェクト

企業等との連携による「山の炭素吸収」拡大に向けた取組応援サイトの整備や、森林由来J-クレジットの創出拡大に向けた技術的助言、需要側への普及啓発等の取組を実施します。

<事業イメージ>

里山の保安全管理

森林・山村多面的機能発揮対策



地域住民や地域外関係者等による里山林の機能維持、スギ人工林の樹種転換等

「森林づくり」意識の醸成

国民参加の植樹等の推進



全国規模の緑化行事の開催、企業等と植栽場所のコーディネート等

新たな森林空間利用の創出

新たな森林空間利用創出対策



森林空間利用のニーズ調査とマッチング機会創出

「日本美しの森 お薦め国有林」の環境整備など



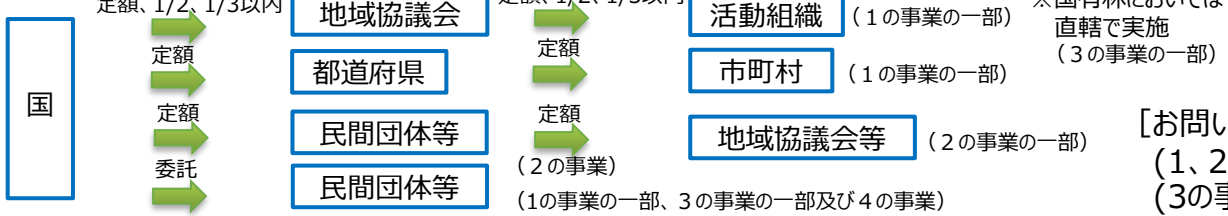
多言語案内標識の整備

森林由来J-クレジットの利用拡大

山の炭素吸収応援プロジェクト

自治体等による取組を応援するサイトの整備、J-クレジットに関心を持つ森林関係者への技術的助言や、需要家への普及啓発など

<事業の流れ>



※国有林においては
直轄で実施
(3の事業の一部)

**都市部の企業や国民の山村地域への関わり増加
(関係人口や投資の増大)**

森林の多面的機能の発揮、山村集落の維持活性化

【お問い合わせ先】
 (1、2、3(一部)、4の事業) 林野庁森林利用課 (03-3502-0048)
 (3の事業の一部) 林野庁経営企画課 (03-6744-2321)